

資料① 3. 休養・こころの健康(改訂版)

(1)睡眠等による十分な休養の確保																																		
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																							
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p><こころの健康の普及啓発活動> こころの健康に関する講演会等の啓発事業を通じ、市民のこころの健康度を上げるよう努めている。 地域の関係機関には、支援者のストレスケア等の研修を行っている。 <出前講座> 出前講座は、市民や関係機関からの依頼により、こころの健康に関する正しい知識の普及啓発を行う。ストレス解消については、「ストレスとこころの健康」の講座を通じて、上手なストレスに解消法等を普及啓発する。</p>	—	<p>①たんぽぽセンター（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業） ②なし</p>	<p>こころの健康に関する普及啓発を推進し、市民が広く精神疾患の理解を深め、ひとり一人のこころの状況に応じた健康を保てるように支援することができる。 出前講座により市民のこころの健康づくりに対する意識の向上を図ることができる。ストレス解消法については、講座を通して正しい知識を学び、各自がストレスをつまく解消することができるようになる。</p>							<p>出前講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>延365人</td> <td>延232人</td> <td>延629人</td> <td>延777人</td> <td>延652人</td> </tr> </table> <p>市民講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>77人</td> <td>74人</td> <td>87人</td> <td>53人</td> <td>68人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	延365人	延232人	延629人	延777人	延652人	H27	H28	H29	H30	R元	77人	74人	87人	53人	68人	<p>令和元年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、フレイル予防啓発チラシの小中学校配布、車両貼付マグネットシートを介護事業者車両、ゴミ収集車等に貼付、啓発動画の作成など、新規施策も含めて幅広く普及啓発活動を実施した。 今後は、令和2年4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、スポーツジムなど民間事業者を広く巻き込んだ事業拡大や、東大、日立と連携したAIを使ったフレイル予防の可能性検証など、柏市フレイル予防プロジェクトのより幅広い展開に取り組む。</p>	<p>事業を継続。地域のこころの健康に関する知識や理解を深めるために「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築を推進していく。</p>
H27	H28	H29	H30	R元																														
延365人	延232人	延629人	延777人	延652人																														
H27	H28	H29	H30	R元																														
77人	74人	87人	53人	68人																														
(2)上手なストレス解消																																		
②ストレスを感じた人の割合の減少																																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																							
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025（*）	<p>「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進</p>	<p>医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど</p>	<p>①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会 ②日立、フィットネス振興会</p>	<p>市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)によって、特に「こころ／認知」面でのフレイル(虚弱)を予防する効果</p>							<p>推進委員会実施回数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	1回	3回	3回	2回	1回	<p>令和元年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、フレイル予防啓発チラシの小中学校配布、車両貼付マグネットシートを介護事業者車両、ゴミ収集車等に貼付、啓発動画の作成など、新規施策も含めて幅広く普及啓発活動を実施した。 今後は、令和2年4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、スポーツジムなど民間事業者を広く巻き込んだ事業拡大や、東大、日立と連携したAIを使ったフレイル予防の可能性検証など、柏市フレイル予防プロジェクトのより幅広い展開に取り組む。</p>	<p>フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。</p>										
H27	H28	H29	H30	R元																														
1回	3回	3回	2回	1回																														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<こころの健康の普及啓発活動> こころの健康に関する講演会等の啓発事業を通じ、市民のこころの健康度を上げるよう努めている。地域の関係機関には、支援者のストレスケア等の研修を行っている。 <出前講座> 出前講座は、市民や関係機関からの依頼により、こころの健康に関する正しい知識の普及啓発を行う。ストレス解消については、「ストレスとこころの健康」の講座を通じて、上手なストレスに解消法等を普及啓発する。	—	①なし ②なし	こころの健康に関する普及啓発を推進し、市民が広く精神疾患の理解を深め、ひとり一人のこころの状況に応じた健康を保てるように支援することができる。出前講座により市民のこころの健康づくりに対する意識の向上を図ることができる。ストレス解消法については、講座を通して正しい知識を学び、各自がストレスをうまく解消することができるようになる。							出前講座参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 延365人 延232人 延629人 延777人 延652人 市民講座参加者数 77人 74人 87人 53人 68人	出前講座は申し込み件数、参加人数等ほぼ一定の実施件数であるが、最近の傾向として、精神障害者等を支える地域の関係機関からの申し込みが増えている。また、引き続き地域職域連携協議会との連携を進めていく。市民講座は意外と身近な精神科～精神科受診が必要な時を実施。地域で今後も広く一般に精神保健を知っていただく機会となった。講演会は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業で検討する。	事業を継続。地域のこころの健康に関する知識や理解を深めるために「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進していく。
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	<こころの健康相談> ・メンタル不調のある市民に対する相談事業。 ①PSWや保健師によるこころの健康相談(電話・面接・訪問) ②嘱託医(精神科医師)による相談(予約制)	—	①なし ②なし	メンタル不調のある方や家族に対する相談を行い、必要に応じて医療機関への受診につなげ、精神疾患の早期発見治療につなげることができる。また必要に応じて関係機関と連携した支援をすることができる。							精神科医による相談数(回数) H27 H28 H29 H30 R元 46件 54件 55件 46件 49件 職員による面談や訪問(延数) 1,357件 1,636件 1,800件 1,549件 1,774件 電話相談 6,660件 7,570件 8,235件 7,529件 7,827件	精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続
子ども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域保健課	ブックスタート事業	1歳6か月児健康診査を受診する親子に対し、市民ボランティアが読み聞かせ体験と絵本をお渡しし、「ことばかけ」の大切さをお伝えする。	柏市ふれあいブックスタートの会	①なし ②なし	絵本を介して親子が向き合い、目と目を合わせて「ことばかけ」をすることで、心安らぐ親子の時間をつくり、子どもの豊かな心を育む。ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る。							受取者数 H27 H28 H29 H30 R元 3,120人 3,407人 3,391人 3,341人 3,284人	令和元年度4月～令和2年2月の計11か月間で、延べ474人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施。ほぼ全ての受診者が絵本を受け取った。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年3月はボランティア活動は休止。フォロー体制として読み聞かせの意義を伝える「ブックスタートアドバイスブックレット」を配布した。ブックスタート担当職員がボランティアに代わって事業を実施した。緊急事態宣言を受け令和2年4月からは1歳6か月児健康診査自体が延期となっており、絵本・ブックレット共に配布ができない状況となっている。ボランティア活動の制限など新型コロナウイルスによる影響が考えられるため、事業再開後の受診親子及びブックスタートボランティアへのフォローが課題となっている。関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。	令和2年度の協議検討結果に基づき、令和3年度の方向性を決定する。
子ども部 子育て支援課 子ども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供し、親子が気軽に集い、交流することにより、親同士が支え合いながら子育てができるよう、実施する事業。子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)	—	①なし ②なし	親子が気軽に集い、交流する場所を提供することにより、子育て中の親子の孤立を防ぎ、子育てに関する悩みや不安を共有したり、子育てに関する情報を得ることにより、子育てに対する不安が減少する。							地域子育て支援拠点事業 延利用者数 H27 H28 H29 H30 R元 117,956人 119,872人 116,807人 123,248人 122,973人	単独型の拠点である「はぐはぐひろば沼南」と「はぐはぐひろば若柴」では、施設の工事・新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業期間があったが、年間の利用者は約34,000人となった。令和2年度は、アンケート調査等により利用者のニーズを把握し、単独型の拡充に向けた調査・研究を行う。また、既存施設については、感染症予防の視点を持ちながら内容を充実を目指す。	令和2年度の検討に基づき、施設の拡充推進や質の維持・向上に資する取り組みを行う。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																															
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																		
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育事業 かたくり学級	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため、地域の方々と交流を深め互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	①なし ②なし	仲間づくりや生きがいがづくりを通じた社会的能力及び順応力の向上。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>5回</td><td>13回</td><td>11回</td><td>9回</td><td>—</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>159人</td><td>364人</td><td>226人</td><td>217人</td><td>—</td></tr> </table>	講座実施状況					H27	H28	H29	H30	R元	実施回数					5回	13回	11回	9回	—	参加者数					159人	364人	226人	217人	—	事業の見直しにより、「かたくり学級」と「いきいきセミナー」を一本化し、新たに「生涯いきいきセミナー」として事業の充実を図った。また、生きがいがづくりや仲間づくりとしては、自主グループとしての活動がスタートした。	令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。
講座実施状況																																													
H27	H28	H29	H30	R元																																									
実施回数																																													
5回	13回	11回	9回	—																																									
参加者数																																													
159人	364人	226人	217人	—																																									
生涯学習部 中央公民館	家庭教育事業 家庭教育講演会	子育て支援を目的とした「柏市私立幼稚園協会」との連携事業。直面する課題をテーマに講演会を実施。子ども・家族・自分自身を見つめ直し、新たな一歩を踏み出すきっかけづくりを目指す。	柏市私立幼稚園協会	①なし ②なし	子育て世代の孤立や子育てに対する不安解消のきっかけづくり。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>—</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>385人</td><td>234人</td><td>200人</td><td>134人</td><td>—</td></tr> </table>	講座実施状況					H27	H28	H29	H30	R元	実施回数					1回	1回	1回	1回	—	参加者数					385人	234人	200人	134人	—	事業の見直しにより、「家庭教育セミナー」と「子育て支援講座」を一本化し、子育てに関するあらゆる課題と向き合い、家庭で抱える様々な課題解決を図る。また、講演会は幼稚園協会との連携事業で実施してきたが、見直しにより講演会形式の講座のあり方について検討することになった。ただし、今回は実施時期が新型コロナウイルスの拡大防止時期と重なったため中止となった。 (子育てすごろくトーク) (時短料理で楽しちゃおう！)	家庭教育事業としての見直しを図るとともに、他部署との連携に努めて実施していく。
講座実施状況																																													
H27	H28	H29	H30	R元																																									
実施回数																																													
1回	1回	1回	1回	—																																									
参加者数																																													
385人	234人	200人	134人	—																																									
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事業 現代課題講座	地域が抱える様々な課題を、専門的な視点から掘り下げ関心を高め、課題解決に役立てる。	—	①なし ②なし	地域課題への関心向上及び課題解決。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>1回</td><td>1回</td><td>3回</td><td>1回</td><td>4回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>77人</td><td>69人</td><td>91人</td><td>90人</td><td>100人</td></tr> </table>	講座実施状況					H27	H28	H29	H30	R元	実施回数					1回	1回	3回	1回	4回	参加者数					77人	69人	91人	90人	100人	地域限定ではあったが、地域学習を通じて、地域相互に連携・協働して学び合い、支え合い、住みよいまちづくりの推進を目的とした講演会やセミナーを実施した。 (豊四季台ぐるるフェスタ2019) (豊四季台ぐるるセミナー) (地域と共に歩む学校づくり)	専門的な知識を掘り下げた人材育成を実施していく。
講座実施状況																																													
H27	H28	H29	H30	R元																																									
実施回数																																													
1回	1回	3回	1回	4回																																									
参加者数																																													
77人	69人	91人	90人	100人																																									
~H27 生涯学習部 沼南公民館 H28~ 中央公民館	高齢者教育事業 いきいきセミナー	生涯学習による仲間づくりや生きがいのある、充実した明るく楽しい人生を送る機会を提供する。	—	①なし ②なし	仲間づくりや生きがいがづくりを通じて、充実した明るく楽しい人生を送るきっかけづくり。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>8回</td><td>8回</td><td>8回</td><td>8回</td><td>8回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>306人</td><td>280人</td><td>228人</td><td>118人</td><td>175人</td></tr> </table>	講座実施状況					H27	H28	H29	H30	R元	実施回数					8回	8回	8回	8回	8回	参加者数					306人	280人	228人	118人	175人	事業の見直しにより、「かたくり学級」と「いきいきセミナー」を一本化し、新たに「生涯いきいきセミナー」として事業の充実を図った。 合唱や寸劇を体験的に学習することにより仲間づくりや生きがいのある人生を送る機会を自ら創り出す能力を習得した。 (今からはじめる音楽レッスン) (寸劇で学ぶコミュニケーション)	令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。
講座実施状況																																													
H27	H28	H29	H30	R元																																									
実施回数																																													
8回	8回	8回	8回	8回																																									
参加者数																																													
306人	280人	228人	118人	175人																																									
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康 ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ。	—	①なし ②なし	元気にいきいきと過ごす手立ての習得。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">いきいき健康ライフ講座参加者</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>25人</td><td>14人</td></tr> </table>	いきいき健康ライフ講座参加者					H27	H28	H29	H30	R元	—	—	—	25人	14人	事業の見直しにより、「食育講座」と「いきいき健康ライフ講座」を一本化し、長寿社会の中でいきいきと過ごす手立てを学べる講座とした。 様々なシチュエーションでの自己表現を通じて円滑なコミュニケーション術を体験的に学び、孤立しがちな地域高齢者がいきいきと過ごす手立てを習得した。 (お笑い芸百選) なお、応募対象地域を限定したため、地域づくり事業として実施した。	令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。															
いきいき健康ライフ講座参加者																																													
H27	H28	H29	H30	R元																																									
—	—	—	25人	14人																																									

(3)自殺予防対策																		
③自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 社会福祉課 R2～ 福祉政策課	自殺予防対策 事業	自殺予防に関する施策を検討し円滑に推進するため、自殺予防対策連絡会議を開催。 【協議事項】 ①自殺予防に関する事業の実施に関する事 ②関係団体等の間の情報交換に関する事 ③柏市自殺対策計画に関する事 ④その他自殺予防対策の連携に関し必要な事項 また、連絡会議の下に庁内連携会議を設置し、市全体で自殺を防ぐ取り組みを推進する。	庁内関係部局、 医師会、民生委員児童委員協議会、 柏警察署、千葉大学、 柏商工会議所、 柏労働基準監督署、 柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	全庁的な取り組みに加えて関係機関との連携・情報交換を実施することにより、効果的な自殺予防対策を推進し、自殺者の減少につなげたい。	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成31年3月に策定した「柏市自殺予防対策計画」に基づき対策を推進している。令和元年度は、11月に自殺予防対策庁内連絡会議を、1月に柏市自殺予防対策連絡会議を実施し、計画に基づく事業の進行管理及び庁内関係部署・連携機関間の情報共有を行った。令和2年度についても、引き続き定期的な会議を開催していく。	自殺対策計画に位置づけた事業の進捗確認・評価等を中心に、引き続き会議を開催する。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												68人	57人	68人	71人	未確定		
						人口10万人対率												
H27	H28	H29	H30	R元														
16.4	13.7	16.2	16.7	未確定														
保健福祉部 社会福祉課 R2～ 福祉政策課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)という観点の他、ライフステージに応じた支援の観点からも対策を実施する。	庁内関係部局、 医師会、民生委員児童委員協議会、 柏警察署、千葉大学、 柏商工会議所、 柏労働基準監督署、 柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	・悩んでいる人が適切な相談機関で支援を受けることができることによる事前予防の効果 ・悩んでいる人に手を差し伸べることができる市民を増やすことによる、地域づくりや危機対応への効果 ・自死遺族の精神的負担を和らげることによる事後対応の効果	○	○	○	○	○	○	自殺者数					令和元年度の事業のうち、無料対面談事業の相談件数は前年よりも増加し、認知行動療法サポーター養成講座(2回)、ゲートキーパー養成研修(1回)については定員を上回る応募があるなど、悩んでいる方が多く存在することが伺えた。新規の取り組みとしては、麗澤大学との地域連携実習(大学生による課題解決型授業)を実施した。継続事業としては、自死遺族支援事業、相談窓口冊子、カード等の作成・配付やツイッター配信等を実施した。令和2年度は、反響の大きかったゲートキーパー養成研修を2回に拡大し、その他の事業についても継続していく。	令和2年度に引き続き、事業を実施する。ゲートキーパー養成研修は、対象者やテーマを変えて拡大実施の方向。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												68人	57人	68人	71人	未確定		
						人口10万人対率												
H27	H28	H29	H30	R元														
16.4	13.7	16.2	16.7	未確定														
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	<こころの健康相談> ・メンタル不調のある市民に対する相談事業。 ①PSWや保健師によるこころの健康相談(電話・面接・訪問) ②嘱託医(精神科医師)による相談(予約制)	—	①なし ②なし	メンタル不調のある方や家族に対する相談を行い、必要に応じて医療機関への受診につなげ、精神疾患の早期発見治療につなげることができる。また必要に応じて関係機関と連携した支援をすることができる。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続
												H27	H28	H29	H30	R元		
												46件	54件	55件	46件	49件		
												職員による面談や訪問(延数)						
												1,357件	1,636件	1,800件	1,549件	1,774件		
電話相談																		
6,660件	7,570件	8,235件	7,529件	7,827件														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)	ホームページやチラシ等を用いて周知し、地域サロンを中心とした依頼の健康教育を実施した。 啓発ワーキングと連携し、健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、啓発ワーキングと連携した健康教育を実施し、地域活動を行っていく。		
保健所 地域保健課	妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業	妊娠届出受理時、専門職が妊婦全員と面談をして、こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認することで、早期に周産期の精神不調を把握し、迅速に支援を開始する。	庁内関係各課 産科医療機関等	①なし ②なし	妊娠や出産への不安が高い方や、周産期の精神不調の疑いのある方に対し、早期に把握し、産科や精神科等と連携し、早期支援ができる。							母子健康手帳交付状況	妊娠届出受理時に、専門職による全数面談を実施。面談にて、書面上では把握できない気分の落ち込みや不安の有無を確認し、要支援家庭を把握し、早期に必要な支援につなげた。産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り、周産期メンタルヘルスカンファレンスを開催し、メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。 「駅前すこやかプチルーム」では、気軽に相談できる場を提供した。	4箇所の妊娠子育て相談センター(柏市役所・ウェルネス柏・沼南支所・柏駅前)にて、全数面談を継続。 ・周産期メンタルヘルスに関し、関係機関との連携強化 ・気軽に相談できる場の提供		
保健所 地域保健課	乳児家庭全戸訪問事業	市内の乳児がいる全家庭を訪問。生後3か月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施し、育児支援チェックリスト・産後うつ等の早期発見のスクリーニング指標(EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)を用いて、育児ストレスが高いと思われる方への訪問等の継続支援を実施。	庁内関係各課 医療機関等(産科、小児科、精神科等)	①なし ②なし	育児ストレスが高いと思われる方や、医療の必要な産後うつ病の疑いのある方に対し、産科や精神科等と連携し早期発見・早期支援ができる。							乳児家庭全戸訪問事業実施者数	保健師、助産師による新生児訪問等において、産後うつ等こころの問題を抱える産婦を早期発見し、早期支援に繋げた。	市民に対する全数訪問の周知の強化 早期の訪問に向け、出生連絡票提出方法(電子申請など)の情報収集と検討		
												H27	H28	H29	H30	R元
												2,609人	3,006人	3,344人	3,295人	3,182人
												乳児家庭全戸訪問事業面談率				
												-	85.4%	95.7%	95.3%	96.2%
												H28年度より、妊産婦・新生児訪問とこんにちは赤ちゃん訪問を統合し、乳児家庭全戸訪問事業を開始した。H29.4～全数訪問としての取り組みを開始。※H27以前は新生児訪問として希望者のみに実施していた。				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。休養・こころの健康に関わるリーフレットやストレスチェッカーを用いた啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。具体的にはリーフレットを手にすることやストレスチェッカーに触れることで、自分自身のことを振り返る機会を作る。							啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。休養・こころの健康については、イベントにおいてストレスチェックを実施予定であったが、台風のため中止となり、実施ができなかった。次年度以降に再度企画する予定。 また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モーニング」で発行している「モーニングママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モーニング」で連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
												啓発実施者数(休養・こころの健康)							
												-	-	-	807人	-			
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会を実施し、働く世代の方への健康増進に係ることを実施する。事業所向けの健康情報等のメール配信を行い、こころの健康に関する啓発を行う。健康啓発リーフレットの配付事業所向け講習会を行う。	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進を図り、こころの健康を維持・促進し、自殺予防につなげる。 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加することで、企業として自殺予防に取り組むことができる。							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所だよりも活用した。年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												13社			27社	36社	47社	60社	
												講習会参加事業所数							
												8社	15社	29社	52社	43社			
学校教育 部 児童生徒課	不登校児童生徒の支援事業	市内の小中学校で、何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学習支援や訪問活動を行っている。不登校の児童生徒が抱える悩みについて聞いたり、保護者の相談にも対応している。	-	①民間の学習塾(ただし、長期休業短縮に伴い、実施については未定)	不登校児童生徒の減少と合わせて、児童生徒が個々に応じた学習や相談ができるような環境づくりをしていく。							適応指導教室学習相談室入室入級者数	成果としては、入級入室者数が増え、多くの児童生徒が利用することができた。学校復帰や部分復帰、進学につなげることもできた。また、教育相談も電話、来室・訪問ともに件数が増え、より多くの保護者の要望に応じたり、対応したりすることができた。 課題としては、利用者が増加することで施設や設備、消耗品などの不足が見られた。また、学校と保護者や学校と学習相談室等の連携が取れないケースもあった。今年度の取組としては、学校から学習相談室への訪問や学習課題等の連絡を密に行い、学校と保護者、学習相談室の連携を図る。	不登校児童生徒の人数が増加していること、学校以外の場所での学習活動が周知されていること、年度末から休校が続いたことなどから、学習相談室や教育支援センターの利用者数も増加することが見込まれる。学校と連携を深めながら、児童生徒の学習の機会を確保していく。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												70人			63人	75人	81人	84人	
												教育相談件数(電話)							
												2,616件			2,944件	2,673件	2,785件	3,248件	
												教育相談件数(来室・訪問等)							
												790件			881件	605件	856件	1,273件	
						教育相談件数(家庭訪問)													
						987件	781件	802件	574件	589件									